

いたばし No. 1 実現プラン 2021 の実績をお知らせします 【Total Report】

いたばしNo. 1 実現プラン 2021 を 1 年前倒しで改訂

- いたばしNo.1 実現プラン 2021（以下「No.1 プラン 2021」）は、令和元年度から3年度までの計画でしたが、令和2年に入り、国による不合理な税制改正に伴う減収の恒常化に加え、新型コロナウイルス感染症の影響など、かつて経験したことのない危機に直面しました。
- こうした危機を乗り越えていくため、1年前倒しでNo.1 プラン 2021 を改訂することとし、板橋区基本計画 2025（以下「基本計画」）の後半5年間（令和3年度から令和7年度）を計画期間とするアクションプログラムとして、いたばしNo.1 実現プラン 2025（以下「No.1 プラン 2025」）を新たに策定しました。この改訂によって、No.1 プラン 2021 は令和2年度末をもって計画期間を終了しましたので、「実施計画」「経営革新計画」「人材育成・活用計画」における実績をお知らせします。

1 「実施計画」

- 「実施計画」は、普遍的な国際目標である SDGs（持続可能な開発目標）を見据えながら、基本計画に定めた3つの基本目標とそれを実現する9つの基本政策に基づき、68の計画事業を実施しました。

基本目標 I 未来をはぐくむあたたかいまち

計画事業の7割以上が「概ね達成」以上の実績を上げました。

基本政策 I - 1 「子育て安心」

認可保育所を10施設新規整備し、723名の定員増を図るなど、保育園の待機児童解消に取り組み、令和3年には36人まで減少しました。また、学校跡地を活用し、子ども家庭支援センターと児童相談所機能を併せ持つ「(仮称)子ども家庭総合支援センター」の整備工事に着手しました。



■ (仮称) 子ども家庭総合支援センター



基本政策 I - 2 「魅力ある学び支援」

中央図書館は、平和公園内へ移転し、いたばしポローニャ絵本館を併設して、リニューアルオープンしました。また、板橋第十小学校、上板橋第二中学校の改築を進めたほか、コミュニティスクール (iCS) を全校に導入しました。



■ 新中央図書館内ポローニャギャラリー



基本政策 I - 3 「安心の福祉・介護」

重症心身障がい者通所施設（定員10名）を含む生活介護施設（定員50名）を1か所整備したほか、概ね16歳以上の発達障がいのある方を総合的に支援する拠点として、「発達障がい者支援センター」を開設しました。



■ 開設した発達障がい者支援センター



基本目標Ⅱ いきいきかがやく元気なまち

計画事業の6割以上が「概ね達成」以上と評価できる実績を上げました。

基本政策Ⅱ－1 「豊かな健康長寿社会」

いたばし健康づくりプロジェクトやシニア世代活動支援プロジェクトに取り組んだほか、小豆沢公園内に「あずさわスポーツフィールド」を整備し、緑の中でスポーツに親しんだり、健康づくりに取り組んだりできる環境の充実を図りました。



■あずさわスポーツフィールドオープン



基本政策Ⅱ－2 「心躍るスポーツ・文化」

区立美術館を大規模改修し、継承と刷新を極めた美術館へリニューアルしました（(公社)ロングライフビル推進協会が主催するBELCA賞（ベストリフォーム部門）を受賞）。また、東板橋体育館の改修に併せ、植村冒険館を移転・複合化させる工事に着手しました。



■BELCA 賞を受賞した区立美術館



基本政策Ⅱ－3 「光輝く板橋ブランド・産業活力」

ものづくり企業への立地継続支援や特別工業地区の見直しなど、産業集積の維持・発展を促進しました。また、赤塚植物園に、主に子どもたちを対象に、「観て・育てて・収穫する」体験の場を提供する農業園を増設しました。



■オープンした赤塚植物園農業園



基本目標Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち

計画事業の7割以上が「概ね達成」以上と評価できる実績を上げました。

基本政策Ⅲ－1 「緑と環境共生」

板橋こども動物園を改築し、環境負荷軽減のため草屋根や壁面緑化を施したほか、キッズルームなどの施設機能を拡充させるなど、SDGsを体現する施設としてリニューアルしました。また、熱帯環境植物館の設備改修や赤塚植物園の再整備など、特色ある施設の機能向上に取り組みました。



■板橋こども動物園リニューアルオープン



基本政策Ⅲ－2 「万全な備えの安心・安全」

避難行動要支援者等の受け入れ態勢の確保に向けて、福祉避難所を新たに10施設整備しました。また、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクと消毒液をすべての協定締結施設に配備しました。



■福祉避難所開設・運営訓練の様子



基本政策Ⅲ－３「快適で魅力あるまち」

大山駅付近における東武東上線立体化及び駅前広場の都市計画決定、クロスポイント市街地再開発事業の工事開始、板橋駅板橋口地区市街地再開発事業の施行認可・西口駅前広場整備計画の策定、上板橋駅南口駅前東地区における再開発組合の設立など、駅や商店街を中心としたまちづくりが進展しました。



■大山駅周辺クロスポイント

●実施計画の計画事業数・決算額

計画事業数：68 事業、令和元年・2 年度決算額合計：28,882 百万円

●未来創造戦略 オリンピック・パラリンピックレガシープラン

○No.1 プラン 2021 では、基本計画に定める施策・組織横断的に協働・連携する戦略である未来創造戦略の推進にあたり、東京 2020 大会を契機に注力する事業をパッケージプランとして示し、ターゲットを明確化しながら、3つのプロジェクトに取り組んできました。

プロジェクトⅠ だれもが主役で活躍できるまち

【主な取組】オリンピック・パラリンピック教育の取組の充実、ボッチャ大会の開催、バリアフリーマップの充実 など

プロジェクトⅡ スポーツとにぎわい

【主な取組】イタリア・バレーボールチーム誘致決定関連事業、スポーツ先進医療によるアスリートへの支援 など

プロジェクトⅢ 魅力の発信

【主な取組】東京 2020 大会に向けた本庁舎・商店街等の装飾、MOTENASHI プロジェクトの推進、屋外案内標識デザインガイドラインに基づく整備 など

○東京 2020 大会は、新型コロナウイルス感染症の影響によって1年延期となり、感染予防・防止行動を徹底する観点から、令和2年度は多くの機運醸成事業等を中止せざるをえませんでした。これまでの取組をレガシーとして次世代へ継承していきます。

●新型コロナウイルス感染症拡大の影響

○新型コロナウイルス感染症の流行は、世界規模に拡大し、社会経済に甚大な影響を及ぼしました。「実施計画」の推進にあっても、コロナ禍の影響を受け、各事業の計画や実施手法を見直さざるをえない状況となり、令和2年度は、計画事業68事業のうち33事業が中止や延期など何らかの影響を受けています。

○No.1 プラン 2021 の改訂にあたっては、公共施設の新規工事着手を3年間先送りすることとしたため、学校の改修、史跡公園の整備などは、令和2年度の計画から見直さざるを得ませんでした。また、学校の夏季休業を短縮せざるをえなかったため、給食用設備や校庭改修などは工期を確保できず、実施を見送りました。

○区民まつり・農業まつりは中止となりましたが、代替事業として「お届け！板橋うまいもんマルシェ」を開催し、インターネット販売を実施したほか（販売数2,836品）、農産物展示会、野菜宝船の展示、区内農産物のセット販売を実施しました（観客者数延700人）。また、板橋 City マラソンもオンライン開催として実施しました（参加者数1,828人）。

2 「経営革新計画」

- 「経営革新計画」は、経営資源を「選択と集中」により最適配分・有効活用するとともに、「人材育成・活用計画」との連携による組織力の強化を担い、「実施計画」(戦略事業を含む)を下支えし、時代の変化に的確に対応できる財政基盤の確立をめざしています。
- 限られた経営資源を多様化する行政需要への対応や未来創造戦略に配分しつつ、将来を見据えて持続可能な区政経営を実現するため、既存の行政サービスのあり方について、固定観念を持つことなく見直し、民間活力や区民参画を推し進め、区民サービスの質を向上していきます。

経営資源の再配分と民間活用の推進

委託化等による民間活力の積極的な活用により、効率的・効果的な事務事業の運営や区民サービスの向上を図りました。

- フードドライブを令和2年4月から全地域センター(18か所)で開始し、293人の利用実績がありました。
- 廃止施設等の建物・用地の整理を進め、用地(1か所)を売却処分しました。
- 区立高齢者在宅サービスセンター(6か所)を廃止しました。
- 区立保育園の民営化を1園実施し、1園を計画より1年前倒しで閉園としました。
- 区立住宅(2か所)を契約満了に伴いオーナーへ返還しました。



■ 地域センターでのフードドライブ受付

令和元年・2年度の実績

令和元年・2年度の実績は以下のとおりです。

【財政効果額】

計画値(A)	109百万円
実績値(B)	483百万円
比較(B-A)	374百万円

【人員削減数】

計画値(A)	34人
実績値(B)	51人
比較(B-A)	17人

3 「人材育成・活用計画」

「人材育成・活用計画」は、「板橋区人材育成・活用方針-ひと創り 2025-」に掲げる職員像の実現に向けた具体的方策を示すとともに、「実施計画」「経営革新計画」の実現を支える「ひと創り」について人事施策の観点から推進する役割を担っています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、研修をはじめとする人材育成事業について、中止や事業縮小が余儀なくされましたが、研修体系の見直しや資料配付等による代替研修など工夫を凝らして、概ね順調に事業を進めることができました。

(1) MOTENASHIプロジェクト

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、交流人口の増加を図る諸施策を推進し、訪日外国人を板橋区に迎える体制の整備を効果的に推進する職員を育成するために、「MOTENASHIプロジェクト」を展開しました。

●板橋の魅力を創る

交流人口の増加を図るためには、新たな区の魅力を創り出す必要があります。そこで、固定観念や前例に捉われず、社会環境の変化に対応できる新規事業の立案や課題解決、業務改善を促進する柔軟な発想力を養う「クリエイティブ発想力向上研修」や、東京家政大学・淑徳大学と連携して、「未来の板橋区を創造する」をテーマとしたワークショップ「共創マイスター養成講座」を実施しました。

●板橋を発信する

にぎわいを創出するためには、新たな区の魅力を創出するだけでなく、効果的に魅力情報を発信する必要があります。そこで、SNSの基礎、区公式Instagramを活用した情報発信、魅力的な写真の撮影の技術などを学ぶ、「情報発信力向上研修」を実施しました。

●板橋に迎える

訪日外国人を、一歩進んだ「もてなしの心」で迎えるために、大東文化大学と連携し、多文化の理解や英会話について、職員と区民が共に学習する「板橋の魅力を伝える もてなし英語(初級・中級)」を開催しました。

また、組織的な「もてなしの心」の理解・醸成を図るため、新任職員に対し、基本的な接客対応等を学ぶ「ビジネスマナー研修」を実施しました。



■「ビジネスマナー研修」



※区独自の「ビジネスマナー手帳(左写真参照)」を活用して研修を行っています。

(2) 区政課題に対応するための人事施策

「まちづくり」や児童相談所設置などは、区政課題の中でも特に専門的かつ実践的な能力が必要となります。専門的な人材の育成・活用について、所管課と連携しながら、次の人事施策による支援を行いました。

●児童相談所設置に係る職員体制・派遣

(仮称) 子ども家庭支援センターの開設に向けて、児童相談所勤務経験を有する職員を講師とし、福祉職(福祉・保育士・児童指導)を対象とした研修を実施しました。

また、児童相談業務の知識・技能を習得するために、他自体の児童相談所・一時保護所における派遣研修の拡大に取り組みました。

●複線型人事制度の対象職種の拡大

建設系技術職員が担う分野においても高い専門性を有する人材の育成と活用を図るため、これまで事務に限定されていた複線型人事制度に土木造園と建築を対象に加えるとともに、「まちづくり」分野を追加して実施しました。

(3) 若手職員への計画的な人材育成

区職員として主体的に取り組む姿勢や相手の立場に立った責任のある行動を促すための「フォローアップ研修(新規採用職員)」「わかりやすいビジネス文書研修(採用2年目)」を導入し、若手職員の早期戦力化を図りました。

また、新任研修と連動させた、新規採用職員の育成担当者研修「OJTトレーナー研修」を実施しました。



■「わかりやすいビジネス文書研修」

(4) 新任管理職に対する計画的な人材育成

管理職による管理職の育成(OJT)をねらいとした「管理職育成プログラム」を実施しました。

プログラムでは、先輩管理職が講師となり人事管理、緊急時対応、マスコミ対応、議会对応などの基礎的な講義を実施しました。

計画の実績

体系大分類	計画事業数	実施事業数
1 変革・挑戦する職員への成長	42	40
2 質を追求する組織の開発	30	30
3 戦略的な区政経営の実現	38	37
4 能力を最大限発揮できる環境の整備	22	22
合計	132	129

板橋区の主な新型コロナウイルス感染症対策（令和元年度～2年度）

○板橋区では、区民の生命・健康・財産を守り、安心・安全を第一としながら、公共施設・事業における感染防止対策の徹底を図りつつ、緊急事態への対応や繁忙業務へ一時的に人員を集中配置するなど全庁挙げて取り組む方針のもと、令和2年度は8度にわたる補正予算を編成し、感染拡大防止にかかる検査体制強化への支援、区民生活や中小企業・雇用への緊急支援をはじめ、郵送・電子申請の利用促進や迅速な情報提供等による区民の不安解消に速やかに取り組んできました。

1 区民の生命・健康を守る

- 新型コロナ健康相談窓口の開設
- PCRセンターの開設
- PCR検査支援
- 新型コロナウイルス医療体制支援事業
- 高齢者インフルエンザ定期予防接種の拡充
- 病院間連携・転院等支援によるコロナ病床確保事業
- 自宅療養中の夜間・休日電話相談・救急往診体制整備事業
- 紫外線照射ロボットによる新型コロナ不活化効果確認
- ワクチン接種事業 など



■PCRセンター開設

2 区民生活支援

- Youtubeを活用したオンライン授業等動画配信
- 児童育成手当臨時特別給付金支給
- ひとり親世帯臨時特別給付金支給
- 新生児臨時特別給付金支給
- 臨時福祉商品券給付事業
- 住居確保給付金の拡充
- 就学援助世帯支援 など



■学校休業中に特別授業を動画配信

3 区内中小企業・経済・文化活動支援

- 小規模事業者緊急家賃助成
- キャッシュレス決済等活用事業者支援
- 商店街活動支援金交付事業
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止事業助成金等
- 営業時間短縮感染拡大防止協力金給付事業
- 産業融資利子補給・経営相談等
- 「アーティストバンクいたばし」創設・活動支援



■ピアニスト・佐野優子
(アーティストバンクいたばし登録)

No.1 プラン 2025 について

○1年前倒しでNo.1プラン2021を改訂し、新たに策定したNo.1プラン2025では、緊急の課題である新型コロナウイルス感染症対策へスピード感をもって取り組むとともに、ポストコロナ時代における「新たな日常」の構築・定着を見据えながら、厳しい財政状況にあっても限られた経営資源を「SDGs戦略」「DX戦略」「ブランド戦略」の3つを柱とする重点戦略へ集中投資することによって、行政サービスの質の向上を図り、基本計画の後半5年間における持続可能な区政経営を実現していきます。

新型コロナウイルス感染症対策に多くの方々からご支援・ご協力をいただきました。



■人間国宝・神田松鯉氏（区民栄誉賞）によるオンライン講談



■板橋落語会による板橋オンライン寄席



■豊隆機器サービス(株)からフェイスシールド無償提供



■リンテック(株)からフェイスシールド無償提供



■株式会社トランスポート・エースアンドエースから区への寄付金贈呈



■トヨタモビリティ東京(株)からコロナ対策用車両を無償貸与



■(株)グッドスタッフから検温機能及び消毒ディスペンサー機能付ディスプレイ無償提供



■(株)アイル(IMSグループ)及び燦キャピタルマネージメント(株)から除菌液の無償配布



■寿堂紙製品工業(株)・コーホク印刷(株)から保育園へオリジナル折り紙寄贈



■紫外線照射ロボットによる新型コロナウイルス不活化効果確認に伴う合同記者会見



■明治安田生命保険相互会社池袋支社から区への寄付金贈呈



■区内在住高校生から区内保育園へ手作りマスク寄贈



■リンテック(株)及びプリンテック(株)からフロアマーキング及びテイクアウトステッカー無償提供



板橋区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。